

# (参考) その他 感染症への対応



- ✓ 避難所運営委員会にて必要と判断した際には、以下を参考に感染症への対応を行ってください。
- ✓ 感染対策として必要な物資は確保しています。

## 目次

1 感染症対策物資の活用	5 食事の配給
2 避難スペースのレイアウト	6 換気
3 毎日の健康確認	
4 トイレ・手洗い場の掃除	

# 1 感染症対策物資の活用

- \* 防災備蓄倉庫や体育館、校舎内に、感染症対策物資を保管しています。
- \* 避難所運営委員会にて必要と判断した際や避難者からの要望があった際に、適宜使用してください。

## ①防災備蓄倉庫

○「食料物資班 活動シートA 備蓄物資の確認」の【感染症予防物資】を配備しています。  
マスク、非接触型体温計、除菌アルコールなど

## ②その他の保管場所

○以下の物資を、「食料物資班 活動シートA 備蓄物資の確認」の【避難所ごとに保管場所が異なる備蓄物資】に配備しています。



ファミールーム

- ・簡易的なテントです。
- ・飛沫感染を防ぐため等に、使用することができます。

※備蓄している数に限りがあります。



段ボールベッド

- ・段ボール組み立て式のベッドです。
- ・体育館の床に直で寝ることが困難な避難者用ですが、ベッドの高さがあるため床の空気を吸い込みにくくなり、感染予防にも繋がります。

※備蓄している数に限りがあります。



ジョイントマット

- ・体育館の床等に直で寝ることが困難な避難者用ですが、マットを敷くことで、ほこりが舞いにくくなるため、感染予防にも繋がります。

※備蓄している数に限りがあります。



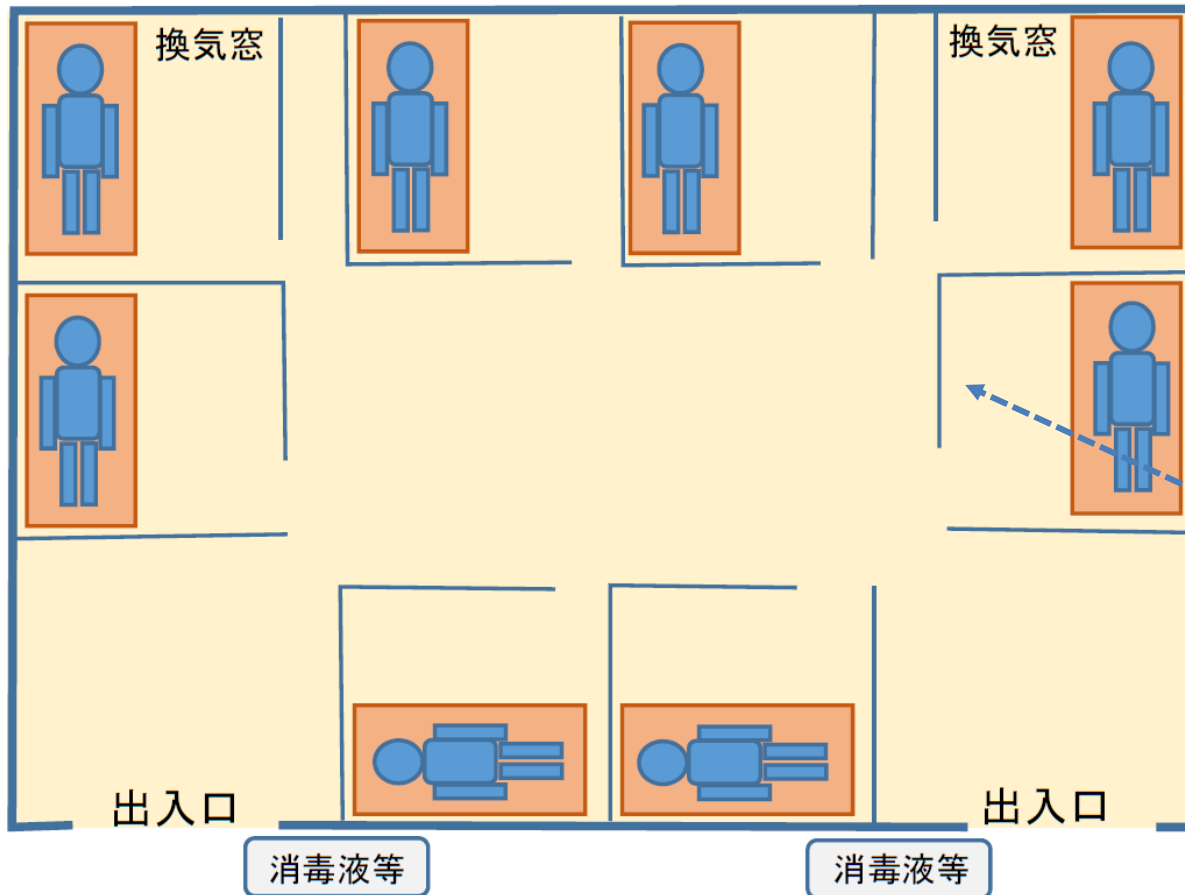
検温カメラ

- ・避難者の受付時や、普段の体温測定などに使用します。
- ※倒れやすい場所には設置しないようにします。

## 2 避難スペースのレイアウト

### ➤ 感染者、発熱・咳等のある者

可能な限り個室にすることが望ましいですが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保します。  
やむを得ず同室にする場合は、ファミリールームやパーティションで区切るなどの工夫をします。



### ※避難スペース

○体育館以外の普通教室や特別教室、複数の棟、体育館の2階部分など、施設管理者と協議し、スペースを決定します。

### ※パーティション

○飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高くします。  
○換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

《感染者、発熱・咳等のある者専用室のレイアウト（例）》

### 3 健康確認

□ ①避難者に、検温や健康チェックを行ってもらいます。

○健康チェック表に記入してもらいます。

※健康チェック表は、避難スペースに収容後、避難者組長から避難者に配布します。

\* 様式 2 2「健康チェック表」

※健康チェック表は、各避難者で管理してもらいます。

□ ②体調が優れない避難者に対応します。

○避難者組長は、体調がすぐれない避難者がいないか確認します。

○体調が優れない避難者が出た場合は、速やかに一般の避難者とは別の避難スペースを用意します。

○保健師等が避難所にいる場合は相談し、今後の対応を協議しましょう。

## 4 トイレ・手洗い場の掃除

### □ ①作業の実施

- 消毒液に浸したペーパータオルで、便器・ドアノブ・鍵・手洗い場（蛇口・洗面台）、洗浄レバーを拭きます。
- ごみを処理します。
- 消毒液やトイレットペーパーを補充します。

## 5 食事の配給

### □ ①作業の実施

- 作業台や配膳箱などを消毒液に浸したペーパータオルで拭きます。
- 新しいゴミ袋（生ごみ用も）を用意します。
- 避難者組の組長や各組の配膳係に渡します。
  - ※配膳係には手洗い・アルコール消毒をしてもらってから取りに来てもらいます。

# 6 換気

## □ ①作業の実施

○「今から換気します」と声かけをします。

○窓と出入り口を開けます。窓が1つしかない場合は、扇風機を窓側に向けてまわします。

○数分経ったら窓を閉めます。換気時間は状況に応じて対応しますが、30分に1回程度を目安に行います。